

○ B 会 会 計 報 告

(平成16年12月1日～平成17年11月30日)

【 収 入 の 部 】

○B会費納入	429,000
預金利息	8
計	429,008

【 支 出 の 部 】

○B会報（やまざと）No. 19印刷費	198,000
郵送費	106,260
小屋酒場備品代	13,631
小屋酒場食費	2,757
小屋酒場諸雑費	570
山下忠氏お見舞い	3,465
事務備品費	7,530
その他	718
計	332,931

【 差 引 剩 余 金 】

前回（16.11.30）繰越金	1,826,746
収 入 の 部	429,008
支 出 の 部	332,931
差 引 合 計	1,922,823

OBひとこと通信

・会報19号が届きました。ありがとうございます。ワングルOB会の木がしっかり根っ子を張ったような気がして嬉しいです。ただでさえ忙しい年末にたいへんでしたでしょうが、みなさん、心暖まる年の瀬になることと存じます。(15期・舟田)

・昨日「やまざと」受け取りました。金沢・倉谷・ベルクハイムの香りが漂い、しばしの間、安らぎとエネルギーを感じ取れました。ご苦労様でした。こういうものを受け取ると本当にうれしいものです。それ以上に作成にかかわった人たちにとってはうれしさを感じていることでしょう。ゆるりと次のステップへ歩んでください。(15期・奥名)

・表紙の「やまざと」の文字の大きさからして迫力ある内容で、結構な出来栄えだと思えます。私メの原稿と写真がスキ一案内も含め、少なからずページを専用したこと、気恥ずかしい限りです。掲載文字数が、初めて前編集長舟田女史を越えたことは、誇りとしても良いかなとも思いますが。次号では、大野さんも、編集だけでなく、前編集長に負けず、達筆を披露されますことを期待します。今日は、東京でも初雪が降りました。最後まで、自然の破壊力の凄まじさを実感させられる年となるようです。来るお正月は、安らかに迎えられるように……。 (11期・青柳)

・「やまざと」19号拝受しました。どうもありがとうございました。新聞社に30年勤めていましたが、このごろは原稿を書くのも億劫で、今回もなんのお役にも立てず心苦しい限りですが、お陰さまで楽しく拝見することができました。(中略)失業中に四国八十八所の遍路に出たのですが(もちろん歩きです)、25番札所で中断してしまいました。また、数年前から手がけている「北国街道参勤交代の旅」も、ようやく武蔵の国本庄宿(埼玉県本庄市)までたどり着いたものの、お江戸日本橋のゴールまであと3日のところでこちらも中断。残念ながら、どちらも紀行文を「やまざと」に投稿することはできませんでした。いずれの日にかゴールできましたら、そのときには投稿させていただきます。重ねて、ありがとうございました。(15期・松林)

・表紙に使ってもらってありがとうございました。チョッと恥ずかしいけれど嬉しいです。野鳥の会諏訪支部の支部報が今度の1・2月号で通算100号になります。3号から私が表紙を書いています。年6回発行なので、もう16年ほど続いています。ベルクハイムや高三郎にはもう25年以上もご無沙汰しています。5年ほど前に小立野から眺めたのが最後です。「やまざと」の森さんのページを読んでいて、駒帰から犀川ダムへの長い林道、高三郎の取りつきの急坂、ホトギスやヨタカやトラツグミが鳴く夜のベルクハイムなどの風景が思い出されました。それから、富山の両親にも送ってもらいました。ほんとうにありがとう。またイラストなどの用事があればいつでもメールしてください。いつか会える日を楽しみにしています。(21期・竹中)

・「やまざと」も読ませてもらいました。色々動きがあるんですね。ワングルも49期なんかになっているですね。びっくりしました。もうすぐ半世紀なんだと思うとすごいです。年末はパタゴニアに行って、氷河やペンギン、アザラシを眺めてきました。遠くて、ここにいる間しか行けない所でした。(21期・山口克己<ブラジルのサンパウロに赴任中>)

・やまざとVOL.19、楽しかったです。元気をもらいました。なにか、僕たちは帰る場所があるなって感じ。まさに「やまざと」ですね。とっても元気が出る一冊でした。ありがとうございます。(20期・松下和隆)

・やまざとありがとう。楽しく読ませて頂きました。(11期・加藤忠好)

・お世話役、ご苦労様です。やまざとも年末に受け取りました。今年はOB会に加えて自分も白山とその周辺の山に挑戦したいと考えています。(8期・篠島益夫)

・遅くなりました。申し訳なく思っています。お世話になります。よろしくお願いします。還暦登山というわけでもないのですが、先日(4/24~25)笈へ穴田君と登ってきました。2000年の白山以来、ポチポチと歩いています。笈では上馬氏にアドバイスを頂きました。ありがとうございました。(8期・伊豫)

・新役員の皆さんが楽しく運営されることを期待しています。「やまざと」18号の内容も良かったです。欲を言えば、写真に解説があるともっと良かったです。(17期・渡辺)

・39期の西田です。大変遅くなりましたが、会費を送金させていただきます。いつもお世話になっております。12月4日に金沢で結婚式を挙げることになりました。長年過ごした思い出の地での式の準備にあわただしくしている今日この頃です。(39期・西田)

・いつもありがとうございます。36期蒲原良太郎の親です。毎年、劔岳に追悼山行に行っています。これからもよろしくおねがいします。(36期・蒲原)

・「やまざと」楽しく読ませてもらいました。今年は、福井の経ヶ岳、荒島岳、奈良の釈迦ヶ岳、奥又白池経由で穂高・槍往復、二軒小屋から千枚、悪沢、赤石などへ行きました(21期・竹本)

・「やまざと」楽しく読ませていただきました。(11期・片田)

・OB会のお世話、ご苦労様です。ワンダーフォーゲルの心を持続されて活動されている皆様、すばらしいと思います。(19期・石田)

・事務局のお仕事ご苦労様です。大変でしょうがよろしくお願いします。(21期・丹野)

・いつもありがとうございます。9期の平村(旧姓・橘)です。山小屋の特集がされていました。入部した'64年に山小屋の建設に取り組んだことが思い出されます。そして'66年(?)に山小屋委員として規約を整備したり、周辺のルートを作ったり…、楽しい思い出です。(9期・平村)

・やまざと19号ありがとうございました。正月の少しのんびりとした時間の中に、なつかしい時間と空間を楽しむことができました。(15期・坂尻)

・20期藤原です。現在は単身で東京に赴任しております。ご無沙汰を続けておりまして申し訳ありません。影ながら応援させていただきます。(20期・藤原栄)

・昨秋に帰国しました。よろしくお願いします。(16期・清水重)

・長い間のごぶさたでした。皆様のご活躍の様子がよくわかり、なつかしく拝見いたしました。益々のご発展を遠くからお祈りしております。(9期・斎藤)

・15期生の家族です。わざわざお送り下さりありがとうございます。郵便番号、電話番号の訂正をお願いします。夫が亡くなり15年間も過ぎるのに、会員の皆様同様に仲間入りさせていただいていつも恐縮に思っています。(15期・比田井 澄恵)

・21期の村松です。OB会の活動お疲れ様です。(21期・村松)

・近畿OB会いいですね。誰か関東OB会作ってほしいなあ〜。そしたら私参加したいなあ〜。(14期・仁藤)

発行日 ■ 平成17年12月

発行者 ■ 梶 典雅 (19期)

編集責任者 ■ 大野直子 (21期)

印刷 ■ プリントショップ多田

事務局 ■ 金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会

〒920-0226 石川県金沢市栗崎町2-111

大野 直子

TEL&FAX 076-237-8706 E-mail ohno@yu.incl.ne.jp

梶 典雅 会長 E-mail togatotoro@yahoo.co.jp

名倉 均 名簿担当 (23期) E-mail nag2138@po3.nsknet.or.jp

振込口座 ■ 郵便局 / 00780-3-14120 / 金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会

振込口座 ■ 北國銀行本店 / 普 223703 / 金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会

KUWV OB会ホームページ (管理人/奥名正啓・15期) ■ <http://www.kuwv.net>

ホーヨ ホヨヨ

ホーヨ ホヨヨ

春がステキだーよ♪

